



2022年度グッドデザイン賞 近畿で初受賞※ グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン]にも選出 ～ 景観や自然環境に配慮した塔の島河川整備事業 ～

宇治川塔の島地区では、洪水時の流下能力を向上させるため、平成21～30年度にかけて河道掘削や護岸整備等を行いました。

当地区は平等院等の文化遺産が点在することから、学識経験者や地元の方々にご意見を伺いながら、歴史的・文化的景観及び自然環境と調和する河川整備を行いました。

今般、その景観等が高く評価され、2022年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞するとともに、グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン](日本デザイン振興会会長賞)にも選出されました。

※近畿地方整備局が事業主体の河川整備事業において初めての受賞

■グッドデザイン賞ウェブサイト

<https://www.g-mark.org/>

■塔の島河川整備事業について

https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/comit/tou_kentou/tou-kaisyu.html

<取扱い> _____

<配布場所>

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、
京都府政記者クラブ、山城広域振興局、宇治日刊記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所

副所長 北野 頼風
工務第一課長 本岡 大佑

電話番号 (072)843-2861(代表)

2022年度グッドデザイン賞 近畿で初受賞 ※
グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン]にも選出
～ 景観や自然環境に配慮した塔の島河川整備事業 ～

※近畿地方整備局が事業主体の河川整備事業において初めての受賞



■受賞概要等

- 受賞対象名 : 河川整備[景観や自然環境に配慮した塔の島河川整備事業]
事業主体名 : 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
分類 : ランドスケープ、土木・構造物
受賞企業 : 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
受賞番号 : 22G161237
概要 : 宇治川塔の島地区は琵琶湖から淀川に繋がる治水上重要な区間であるが河積が小さく、洪水時の流下能力の向上が課題となっていた。一方、当地区は世界遺産の平等院をはじめとした歴史的文化遺産が点在し、文化庁の重要文化的景観にも指定され、地元市民や観光客にも親しまれているため、歴史的・文化的景観と調和する河川整備を行った。
- プロデューサー : 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所
ディレクター : 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 宮城俊作
デザイナー : 株式会社東京建設コンサルタント 田中亨介
場所 : 京都府宇治市宇治塔川
審査委員の評価 : 河道掘削、護岸整備、合流堰整備といった土木スケールの整備ながら、歴史的文化遺産が点在する地域に相応しい品格を持ち、遠景からディテールまで美しい現れとなっている。
中州が形成される河川の自然の作用を生かしたことで、植生が繁茂しはじめるなど環境再生効果も生じており、水際や柵のデザインによって人々の憩いの姿もまた景観の一部になっている。
人の生活や文化は河川とともにあるが、一方で河川災害が激甚化しているなかで、ただ自然にあらがうだけの土木工事とは異なる考え方で、治水と景観の一体的整備を行ったモデルとして高く評価できる。